

吉田地区

日付：令和5年7月18日（火）

場所：吉田地区センター

会場：29名 オンライン：12名

出席者：市長 企画政策部長 建設事業部長 企画課長 都市計画課長 企画係長 計画係長 企画係1名 デジタル戦略課1名 計画係1名

グループごとの発言

■ グループ①

- ・ 地区の強みについて、私は子育てをしているが非常に子育てがしやすい。また、公園が多く遊ぶところが多くて、他の地域からもよく吉田に遊びに来てきているという話を聞いている。駅、高速道路ICが近いので交通の良さがある。いろいろな文化の交流があって世代間の交流がある。このあたりが強みだと思っている。
- ・ 弱みについて、様々な文化がある分一つの目標に対して同じ方向を向きにくいという面がある。また、線路、高速道路が近い分、騒音面が少し気になる。吉田地域には中学校がなく、丘中学校に通うのが少し遠いのかなと思うが、体力をつけるにはいいのかなと思っている。
- ・ 地区の課題について、私達のような新しい世代がアパートに住んでいて、これから実際に土地を買うとなると、エブソンさんの影響があり、人口が増えていることもあってか土地が少なく争奪戦になっていて、金額が高騰して家を建てるのも困難な状況があると聞いている。空き家が今後増えてくるので、そこをうまく活用できたらという意見が出た。

■ グループ②

- ・ 3区の課題になるが、吉田の中でも3区は人口はいるが高齢化率が高い。そうすると、今は良くてこれが10年後、20年後になると出ていった人は帰ってこない。そうすると人口が減る、空き家も増えるという課題が出てくると思う。
- ・ 生活していると、動くルートは松本市村井の方に向いてしまう。10月にのーとが回るということで、実際どのようなルートで回ってもらえるのかは分からないが、それを活用して年寄りの人たちの交流が増えるといい。また、役員のなり手がいないというのはこの地区でも共通だと思う、その課題をどうやって解決していくかを含めてみんなで考えながらやっていけたらと思う。

■ グループ③

- ・ このグループでは人口増加の話が出た。吉田地区も人口が減り始めてしまったので、どこか市街化調整区域を住宅地にできないかなという話が出た。副市長が見に来てくれて、若宮の続きを住宅地にできないかと提言したが、そこは水害に難があるのではないかという話だった。水害に関しては情報がいろいろ出て、地震と違い突然来るわけではないので、早めの避難を呼びかけていけば住宅にすることも可能ではないかという話をさせていただいた。人口増加、子育て世代を何とか呼び込んで活気ある塩尻市をと思う。

■ グループ④

- ・ こちらのグループでも、調整区域を市街化区域にしてみっと住民を受け入れられるようにしたい、という要望があった。ここは人気がある土地なので住みたいという人がいたら受けられるようなキャパをもう少し持ちたい。
- ・ 吉田地区のちょうど東側、田川高校のあたりからその南ぐらいまでが調整区域で、あのあたりを何とか開発できないか。もっと言うと、田川高校も合併の話があるので、キャパを増やせるのなら増やして人口が増えて、にぎやかな方がいいとは思っている。来たい人がいるならぜひ来ていただいて、住む人を増やしていければと思う。
- ・ 水害の話が出たが、地震にも結構リスクがあるので、そういったことについても地域でどんどんやっていきたいという意見も出た。

■ グループ⑤

- ・ 国道19号線から小俣橋に通じる市道は、東西を結ぶ主要な道路でもすごい交通量で、塩尻市から出る車と、塩尻に入ってくる車がこの道路を通過するものすごい交通量になっている。市でもそういうことは分かっていると思うが、歩道を完備してもらいたい。この道路は松本市にアクセスが近くて非常に道がいいと言われているが、一方で、子どもや車に乗れない人にとっては歩くことができない不都合が非常に弱点になっている。

- ・ 私達の地区は、昭和40年、50年ごろに宅地造成されて、昭和56年頃にもものすごく人口が増加した時期があった。塩尻市が長野県内でも1位、2位の人口増の時期があった。私もその頃に楯川地区から転居してきた。若いころはそんなに苦にならなかったが、今86歳になり長く居住していると、今は運転免許証を持っているからいいけど、もし免許証を返上した場合に、歩くか自転車かタクシーが移動手段になる。そうなった場合に、やはり市道が歩けないと困る。
- ・ 人生100年時代と言われているが、医療や福祉系は非常に充実してくる一方、生活する道路、道路が非常に重要な位置を占めていると思う。道は元々は歩く人が歩くためにできたものであると聞くと、今は車が主導になっている。
- ・ 市道について具体的に言うと、吉田西防災コミュニティセンターから吉田の信号機までの間には歩道がない。いずれも生活しやすい場所だが、そこが非常に弱点になっていて、周りは高齢者が非常に多くなり、1人住まいとか80歳以上の人が周りにいっぱいいる。そういう方が車道を手押し車で歩いているところを見ると非常に危険だと思っている。非常に住み良いところで、交通の便もいいけれども、弱みとなる市道であるで、住民からの要望があるなしに関わらず、市主導でぜひ子どもやお年寄りなど不自由な人が安心して歩ける歩道を整備していただきたい。

■ グループ⑥

- ・ 自分の住んでる地域が極端に高齢化をしていて、本当に困っているという話が出た。役員選出にも困っていて何とかしてほしい。
- ・ 吉田地区も区によってはかなり高齢化が進んでいるところもある。特に4区や5区は一挙にできた地域というのは、同じく一気に高齢化が進んでいる状況がある。住民がいなくなると、ほとんどの場合は空き家になってしまう。4区や5区特に4区はもうほとんど家を建てる余裕がなく、今日示されたマスタープランだと人口を何とかというが、それは絵に描いた餅になりかねないという状況で心配している。

個人の発言

□ 個人①

- ・ 第六次総合計画の説明があったが、これはワークショップがあってそこで多分いろんなことを検討してきたと思う。このワークショップなどの少子化ところに、近年共働きの数が急増し、今までは父が働いて母が家にいてという状況があったが、これが変わってきてる。先ほどからも役員の成り手がないという反面、実はこのワークショップで出ているのは、地域全体として子育てに協力するとか、地域や企業が連携して学校も地域資源を活用するという地域という言葉が結構出てくる。
- ・ 何を言っているかという、最近吉田地区コミュニティや地域での関わりが少し極端な言い方をすると、あんまり良くなってきていて、今子育ての人たちは基本的には共働きで、そこまで地域の役員だったりとかいろんなことに時間を割くことができないという考え方と、昔はみんなで困ってる人がいたら、相互扶助で助けていこうという感覚だったが、今は自分のことは自分でやるという風潮になっている。困っていたら誰かが助けてくれるという部分の「誰か」というのは、多分地域のことを言ってると思うが、そういう感覚になってきていて、地域の人たちのコミュニティづくりというのが非常に大事で、自治会に入るとか入らないとか、そういうことが非常に顕著になってきている状況がある。
- ・ 皆さん、PTAがなくなるなんてことはとても思っていなかったが、近隣の学校ではPTAはいらないと解散してる時代でもあるので、一步間違えると地域のコミュニティが止まっている中で、地域全体に全部投げられると「そんなものはやらないよ」となる可能性がある。そこら辺はよく気をつけていただいて、地域のコミュニティづくりを行政としてどうやっていったらいいか、ご指導いただければありがたい。